

新ひたか町のシンガー・ソングライター 阿部卓馬さん

特産ブランドミニトマト

# 「太陽の瞳」を 歌に乗せPR



日高管内新ひたか町のミニトマト産地で働きながら音楽活動を経て、特産のブランドミニトマト「太陽の瞳」のオリジナル曲を創作したシンガー・ソングライター阿部卓馬さん(38)は、歌に乗せた「太陽の瞳」のPRを道内各地で精力的に行っている。7月には、札幌での販売フェアでも熱唱し、大勢の人から喝采を浴びた。

同町三石出身の阿部さんは、札幌の高校在学時からギターを始め、作詞・作曲も手掛けている。別地区のミニトマト産地で汗を流す一方、音楽活動にも力を入れる。

オリジナル曲を録音する阿部さん(札幌市で)

阿部さんは、2003年には初のアルバムをリリース、08年からギターを始め、作詞・作曲も手掛けている。別地区のミニトマト産地で汗を流す一方、音楽活動にも力を入れる。

## 農園で働き音楽活動

トや口コミなどで徐々に広まった。「太陽の瞳」の特集を組む、活動が全道に紹介された。7月には札幌市の大型施設で2日開催された開催を支援、ミニトマトとCのセットをあるまじく納税の贈り物にした他、8月に阿部さんを「新ひたか町サポーター大使」の第8号にも任命した。大使は町に縁があり、音楽活動などを通じて、地元の魅力やPRできる人を認定する制度。これまで楽団指揮者、歌手やピアノリスト、同町商工会青年部マスコットキャラクターなどが選ばれた。同町出身では阿部さんが初めて。これまで町内外のさまざまなイベントで、「太陽の瞳」をPRしてきた

## 道内各地で熱唱し喝采

# 全国認知めざす

阿部さんは最近、自ら作詞・作曲し、歌うことで人のためになっていると実感する。「それが自慢にもつながっている」と話す。

「太陽の瞳」が同町の手やピアノリスト、同町商工会青年部マスコットキャラクターなどが選ばれた。同町出身では阿部さんが初めて。

これまで町内外のさまざまなイベントで、「太陽の瞳」をPRしてきた